

PTA会報

No.70 2019.3

# 嵩山

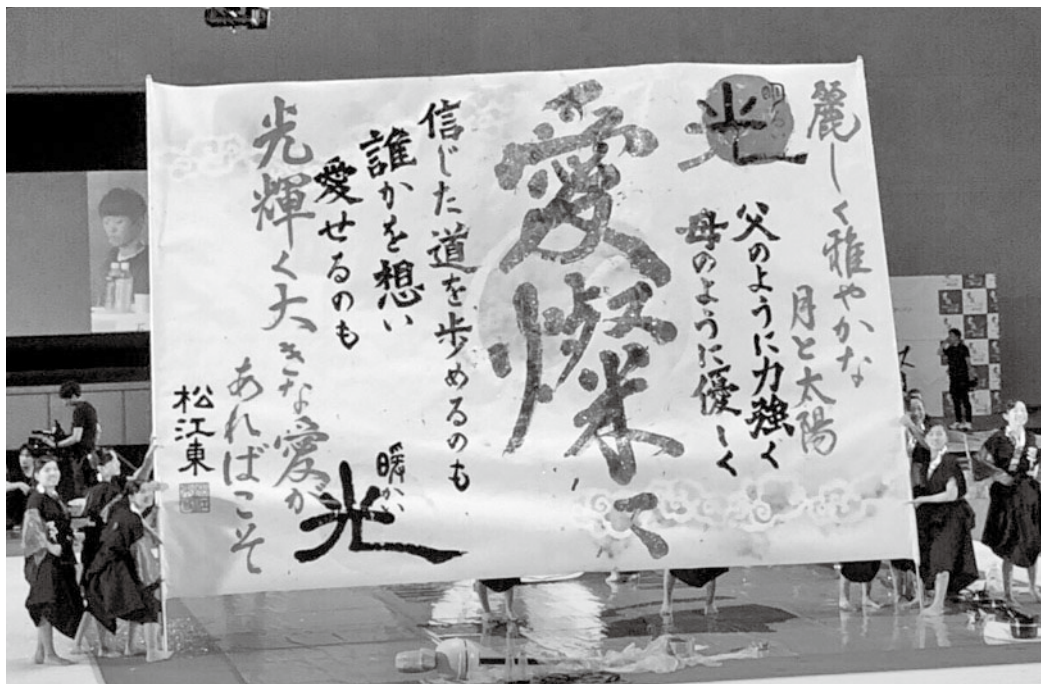


松江東高



○	編集後記	16
○	PTA会務報告	15
○	後期部活動成績一覧	10
○	卒業生からの言葉	8
○	保護者からの言葉	6
○	卒業生に贈る言葉	3
○	教頭挨拶	2
○	PTA副会長挨拶	1

目次



第11回書道パフォーマンス甲子園 帆風成海賞 受賞作品



## これからの高校教育が目指すもの

P T A 副会長 福田 英樹

寒空が終わりを告げ、木々の芽吹きに春を感じるようになりました。早いもので今年度もあとわずかになります。

三年生の保護者の皆様におかれましては、お子様の進学や就職で忙しい一年間であったと思いが募っているでしょうが、親元を離れ、巣立っていくお子様を温かく見守っていただければと思います。

卒業される生徒の皆様には、これからの新しい生活で多くを学び、輝かしい未来への礎となることを心より祈念いたします。

皆様には日頃よりP T A活動にご理解・ご協力賜り厚くお礼申し上げます。私はこれまでP T A役員を経験したことはなかったのですが、白羽の矢が立ち、お引き受けしました。二年間あまり役に立てなかつたと実感しており、残り一年間は少しでも活動に貢献できるよう、頑張つてまいります。

P T A活動に携わらせていただいたことで、県立高校が変革期にあることを学びました。人口減少が進む中、地域の将来を担う人材の育成は重要な課題であり、教育に寄せられる期待はとて大きくなっています。

国は、二〇二二年度から新学習指導要領を実施

し、教育課程全体を通して育成を目指す資質・能力を「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱に整理しています。また、社会に開かれた教育課程を実施することで、より良い学校教育を通じてより良い社会を創るという目標を、学校と社会が共有しながら連携・協働して実現していくとしています。

このような中、県教育委員会は、二〇二〇年代の県立高校における教育の基本的な方向性と具体的な取組を、「県立高校魅力化ビジョン」案として策定しています。「地域住民、市町村、小中学校、地元企業等と高校が一体となって子供たちを育む地域協働スクール」、「地域資源を活用し、学校で学ぶことと地域や社会でより良く生きることをつなぎ、学ぶ意欲や思考力・判断力・表現力を育む」、「生徒の能力・適正、興味・関心、進路希望に応じた多様な学びの保障」等の方向性が示されています。

また、松江市内にある県立普通科三高校について、受験生の住所によって受験校が決まってしまう「通学区」制度を二〇二二年度入試から廃止する方針も示しています。撤廃にあたって各校は特色ある教育を打ち出すこととしており、東高は、島根大学や地域との連携を強化して地域課題解決型学習による実践的な学びを実施するとともに、

多様な選択教科を開設できる単位制を導入することになっていきます。

私は、普通科高校は生徒の進路実現に向け、各教科の習熟度を向上させるため、答えの決まった課題を詰め込んでいくことが役割だと考えていました。しかし、このビジョンでは、高等教育につながる基礎的・基本的な内容の確実な定着を図りながら、生徒が学習内容を人生や社会のあり方と結び付けて深く理解し、自らの将来を主体的に描いていくことができる高校づくりを目指しています。生きる力を身に付ける教育に変わってきていると感じています。

地域での実体験や多様な人々との交流と対話的な学びを通して、学校で学ぶことと地域や社会でより良く生きることをつなぐことで、ふるさとへの愛着と誇りを育むことができる点について、特に関心を持ちました。県外へ進学した場合、大半がそのまま県外で就職しています。

「高度教育を修了したスキルを活かすため大都市で就職したい」等の理由でUターンしないと思いますが、一時ふるさとを離れても、帰ってきて地元で働きたいという思いを高校までに培うことはとても大切だと考えています。東高からもふるさとを支える多くの人材が創出されるよう期待しています。

最後になりますが、東高の魅力化の一助となるよう、P T A活動も今後一層充実していく必要があります。次年度もP T A総会や各種研修会等を実施していきますので、保護者、教職員の皆様にはおかれましては引き続きご協力をお願いし、挨拶に代えさせていただきます。



## 「感謝」

教頭 山崎 誠

松江東高校三十四期の生徒、保護者のみなさま、  
ご卒業おめでとうございます。

三年間の日々はあつという間ではなかつたでしょうか。

卒業式で授与された卒業証書には、「本校所定の普通科の課程を修めその業をおえたことを証する」という二十七文字が書かれています。三年間の日々を思い出しながら二十七文字を噛みしめて読んだ時に、頭には何が浮かぶでしょうか。そもそも「その業をおえる」とはどういう意味なのでしょう。か。おそらく「業」とは、「学業」のことだと思えます。一方辞書には、「業」を「なすべきこと」「努力して成し遂げる事柄」としているものもあります。高校時代には、「何をすべきだったのか。それはできたのか。」「努力して成し遂げる事柄とは何だったのか。それは成し遂げられたのか。」「学業とは学問だけのことか。」「今一度この二十七文字を読みながら、その行間にあることを考えてみてください。そして、何年後かにまたこの文字を読んでみてください。今は感じる事ができないこの三年間で育まれた成長への糧や自信が、何年後かに形になつて見えてくると思いますが、この文字も今と違つて見えてくると思いますが、今、そして未来において、この二十

七文字を読む時に感じるこの三年間を支えてくれた人々への感謝の気持ちを、いつまでも忘れずに持ち続けてください。

卒業式になるとこの八年間必ず思い出す出来事があります。その出来事は、ちょうど私が三年学年主任としての卒業式を終え、前期試験で結果が出なかつた生徒達を、後期試験に送り出した直後に起きました。震災翌日、卒業生の多くが次々と学校にやつて来て、「まだ受験が残っている仲間のために何かできることはないか。」「東日本の方々に自分たちが何かできることはないか。」「と口々に訴えました。そして、まずは募金活動から始めようということになり、次々と町へ飛び出して行きました。募金活動場所の許可申請を含め卒業生自らがすべて行いました。こうした行動の背景には、卒業し、合格をした生徒達が、自信を得ると同時に、そのことを機会に家族を含めいろいろな方々への感謝の気持ちをより純粋に持っているようになったことがあると思つています。センター試験前に雪が積もつたある日の早朝、推薦入試等ですでに合格した生徒達が中心となつて、早く学校に来て坂道や昇降口の雪かきをしていたことがありました。理由を聞くと、「これからセンター試験を受ける仲間が滑つて転んではいけないから」と

答えてくれました。感謝の気持ちが仲間を思いやる気持ちにつながっていることに感激したことを覚えています。こうしたことが、社会貢献、キャリア教育の原点ではないでしょうか。

キャリア教育に関する研修を受けた時に、宮城県出身の講師の先生が次のようなエピソードを紹介されました。「震災後、ある町で中学二年生の女子達がみずから動き出した。自衛隊の方々が調理した炊き出しを避難所に来られない人達に持つて行き出したのだ。印象的だったのはそれまで校内で問題視されていたある女子生徒二人が、自分の家から出られない老夫婦に炊き出しを届け、捨てられる食器なのに、下げないといけない食器だからと偽つて、老夫婦と食事の時間を一緒に過ごしていたこと。捨てられる食器をわざわざ下げてくる女生徒の姿に、涙が止まらなかつた。」「また、「くやしくて、くやしくて。ただ泣くだけで。うんとくやしくて。勉強して、勉強して、こんな時こそ何かできる人になりたい。」と話してくれた女子中学生の言葉も紹介されました。

人を前に突き動かしていく原動力の一つが、自信です。それは、逆境や失敗を乗り越えるからこそ生まれるものでもあります。同時に、逆境や失敗を乗り越えることができるのは、決して見捨てない家族や仲間、そして多くの人々の存在があるからです。

卒業生のみなさんが、今感じている感謝の気持ちを、これから身近な家族はもちろん、社会のいろいろな人たちに様々な形で返して行つてくれると信じています。

# 卒業生に贈る言葉

さあ、これからだ！



校長 野々村 卓

松江東高校三十四期生の皆さん、卒業おめでとう。

この一年間、皆さんには「未見の我を探して欲しい」「自立した十八歳になつて欲しい」と言ってきました。「未見の我」を見つけることはできましたか？

素直で明るく努力を重ねた皆さんは、この東高での三年間でそれぞれ今まで見つけていなかった「何か」をつかんだと思います。

「何か」とは、チャレンジすることの大切さであったり、何事に対してもあきらめない気持ちであったり、自分に厳しく生きる事の必要性であったり、人に優しくすることの大切さであったり、地域に貢献するという気持ちであったり、人により違いがあるでしょう。この三年間で得た「何か」こそがあなたたちがこれからの人生を自信を持って生きていく指針や根拠となるはずですよ。

高校の卒業は一つの区切りとなりますが、これからの人生には、高校生活で感じた困難さとは違う困難が待ち受けているでしょう。その時に東高で培った「何か」を自分の自信にして、それぞれ自分の力で自分の未来を切り拓いていって下さい。どんな困難に対しても、「さあ、これからだ！」とチャレンジし続けていって欲しいと思います。

また皆さんも今後は卒業生会である東雲会の一員として、後輩の応援団になってくれることを期待しています。

# 笑顔忘れずに ☺



31R担任 竹田 育子

三十四期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます！

今でも、皆さんの入学式の日のことを昨日のことのようにはつきりと思い出すことができます。あの日からあつという間に三年が過ぎ、いよいよ皆さんの旅立ちの日が来しました。私は今年度、教員生活二十一年目でしたが、一年生から三年生まで通して担任として関わることができたのは、皆さんが初めてでした。この三年間、私は皆さんの成長を近くで見守ることができたことを本当に有り難く、幸せに思います。皆さんにとつてこの三年間は苦しいことも悲しいことも楽しいこともあったことでしょう。そのすべてが皆さんの糧となり、皆さんを成長させてくれたことと思います。(エリック・カール著『はらぺこあおむし』の中で、あおむしが生まれ、いろいろなものを食べて成長し、最後に美しい蝶になるお話をイメージしてみてください。)

これから皆さんは新たな一歩を踏み出すわけですが、大小を問わず自分の日々の選択が皆さんの人生を形づくるということを念頭において、この世の限りある人生において本当に大切なことは何なのかをよく考え、一日一日を歩んでほしいと思います。

以前、こんな話を聞いたことがあります。

もし、自分の銀行口座に毎日0時に、八六、四〇〇円入金され、自由に使つてよい。但し、貯金ができず、使いきれないと残つたお金は全部消えてしまうのなら、全部おろして真剣に使い方を考えるのはいませんか？私達は、毎日八六、四〇〇秒という時間が与えられています。でも、そ

# 虎穴に入らずんば虎子を得ず



32R担任 中村 伯也

今の三年生(三十四期生)が松江東高校に入学した平成

二十八年四月、私は全国高校総体(インターハイ)のボート競技開催のため、学校を離れ実行委員会に出向していました。三十四期生の中にはその時、インターハイの補助員をしてくれた生徒も大勢います。国・県・市町、そして高校生のおかげで無事インターハイを終えることができました。今もって感謝しております。

さて、インターハイも終わり年が改まった平成二十九年一月、私は松江東高校に帰ってきました。三十四期生が一年の三学期のことです。学年の途中から急に教科担当が変わり、生徒のみなさんにも保護者のみなさんにも大きな不安を与えてしまつたと思います。最初から予定されていたことはいえ大変申し訳なく思いました。ただ、生徒のみなさんと同じように、私も実は不安でした。久しぶりの授業、久しぶりの部活、久しぶりの朝礼や終礼。(その時は副担任でしたが)そんな中で、三十四期生は暖かくほくを受け入れてくれました。すぐくホットするとともに「やっぱり教員はい

れを使わなければ失います。時間を貯めておくことはできないのです。皆さんが、賢く人生を歩んでいくことができますように！  
笑顔とユーモアを忘れずにお元気で！  
May your life be filled with love, joy, peace and hope ☺

な」と改めて思いました。

そうして、縁があつて三十四期生を二年・三年と担任させていただきました。三十四期生は素直で、周囲を気遣うことのできるやさしい生徒が多く、担任としてはすぐ生徒に助けられました。また、保護者の皆さまについても、私の都合によりクラス独自に保護者面談の日程を設定したりしましたが、ご理解くださり本当に助けられました。二年とちよつとの付き合ひでしたが、みんなが新しい場で飛躍してくれることを祈っています。

追伸 みなさんとの一番の思い出は、始業式の担任発表の時32Rだけ「悲鳴」があがつたことです。

## I Have a Dream



33R担任

鎌田 哲成

赤ちゃんの手、知っていますか？ぎゅつと握りしめていますね。赤ちゃんは握りしめた手の中に、「夢」をつかんでいるのです。でも家族の愛に触れようと手を開いてしまいます。そして大人になって、手から飛び去っていった「夢」を追い求めるのだそうです。

この三年間、三十四期生と共に歩んで来ました。ガチガチに緊張した入学式の朝。大都会に浮かれに浮かれた東京研修。なかなか思うような結果が得られず、ストレスが溜まっていくマーク演習。今となれば、どんな些細な瞬間も、皆さんにとつてかけがえのない思い出ではないでしょうか。そして皆さんはこの三年間、手のひらから飛び出し

ていった「夢」について、たくさんのことを考えてきたことでしょうか。皆さんは、その「夢」に向かつて、これからどんな人生を歩んでいくのでしょうか。

アメリカ人のように英語が喋りたい、いやアメリカ人そのものになりたい、そんな馬鹿げた思いで、私は大学の三年次、アメリカへ渡りました。たつた九カ月の滞在だったので、残念ながらアメリカ人になることはできませんでした。私の「夢」であるアメリカ人になるのには、まだまだ時間がかかりそうです。

水の流れを見てみると、いつも前向きに、自分の進むべき方向を自分で決めながら、絶え間なく流れているように感じます。皆さんは「夢」に向かって、また新たな一歩を踏み出します。ゆっくりでもいいから、進む方向を自分で決めながら、着実に歩み続けてください。人間なので、いつか清らかであることは難しいけれど、清らかでありたいと思う心は持ち続けてください。

卒業の朝、教室の窓から見える空は、どこまでも果てしなく広がっています。追い求めているその「夢」は、あなたをどんな場所へ連れていてくれるのでしょうか。「夢」をつかむことができるよう、いつまでも皆さんのことを応援しています。

三十四期生、卒業おめでとう。  
三年間、素敵な思い出をありがとう。



## メッセージ



34R担任

手 銭 隆 志

三年生並びに保護者の皆様へ  
ご卒業まことにおめでとうございませう。一人ひとりが何ものにも変え難い、貴重な経験と思ひ出を胸に東高を巣立つてくれるものと思ひます。皆さんとの関わりはわずか二年間でしたが、私にとつても大変有り難い二年間でした。

皆さんに様々な話をする機会がありましたが、その中でも受験期に繰り返し話したことは「最後に自分を支えてくれるのは、勉強したという事実だけ。」ということでした。受験勉強をしていると精神的に追い込まれ、泣きたくなることや投げ出したくなることもあつたでしょう。特に模試で思うような結果が出なかつたときには本当に辛かつたと思ひます。だからといってその努力を止めてしまつては、何も得るものなく終わつてしまひます。よく「機が熟す」といひますが、その「機」がいつ来るかは誰にも分かりませんが、その「機」初めて分かるといひれます。その「機」が来るまでじつと耐えて、努力し続けた人のみその成果を得ることができ、その過程をとおして飛躍的な成長を遂げることが出来るのです。この先も思うような成果が現れず、思ひ悩むことがあるかもしれませうが、高校時代のことを思ひ出して乗り越えてください。また、受験というハードルは一人では決して越えられなかつたはずで、共に勉強してきた友人や教職員の皆さん、そして何よりも家族の支えがあつたからこそ、乗り越えられたはずで、自分自身で築いた支え、周囲からの支えによつて今の自分があることを決して忘れなひてください。

もう一つ伝えておきたいことがあります。それは、生きているものはいつか必ず死ぬ、死ぬことは必然である、ということ。人の運命はその時が、早いか遅いかだけなのです。ならば、今生きていることは偶然かも知れません。自分はたまたま、幸運にもまだ生かされているのです。皆さんも、この世に生を受け、ここまで生きてこれたことに感謝をしてください。そして、これからも命ある限り、精一杯生きてください。

## ムダにみえるもの



35R担任  
玉木 伸人

三年生のみなさん、卒業おめでとうございます。皆さんに考えてほしいことがあります。「人生にムダはあるのか？」という問いです。

例えば①、これからのビジョンがはつきりと見えている人、大学や専門学校に進学し順調に勉強して三年後、自分のやりたいことが別にあると感じたとき、その学校で学んだ時間やその学校に入学するための努力はムダといえるだろうか。

例えば②、大学受験に失敗して第一志望に行けなかったから、受験勉強に費やした時間はムダだろうか。

例えば③、勉強しないといけないのに友達と遊び倒した時間はムダだろうか。

例えば④、島根大学から松江東高校へ行くのに、ファミマで立ち読みしてから、風風ラーメンで味噌ラーメンまんぷく餃子セットを食べて、ココイチで豚しゃぶカレーを食べ吉野屋で牛丼を食べてから行くのはムダだろうか。

どうでしょう？いろいろな考え方があろうかと思いますが、私は「ムダはない」と思います。なぜならば、①苦勞してそこに入って、三年間勉強したから、やりたいことが別であると感ずることができた。②受験勉強に苦勞した分、精神的に成長することができた。本来いく予定であったところにはないような、人生を決定づける出会いがある。③そこでできたつながりの濃い友達は一生もの。④最短ルートにはないおいしさがいっぱい。本当です。しかし、簡単にはそう思えません。なぜなら、このように思えるようになるためには条件が二つ必要だからです。一つ目は、その現場面で「全力で取り組む」ことができていることです。大学へ入ってからの勉強だろうが、受験勉強だろうが、友達と遊ぶことだろうが、食べることだろうが、全てです。二つ目は、時間です。一つ目の条件がクリア出来ていればですが、その瞬間にはそう思えなくとも、時間がある程度経ち、みなさんが立派な大人になった頃、ようやくそのように感じるができるのです。

これからさまざまな困難にぶち当たったり、一見ムダに感じることを経験したりすると思いがすが、どんなムダに思えることも全力で立ち向かって下さい。そのたびに自分というものが補強されていきます。応援しています。



## 受験は終わる。だけど、挑戦は続く



36R担任  
福田 秀孝

三十四期生のみなさん、卒業おめでとうございます。初めての学年主任として、みなさんとともに過ごしたこの三年間、私は自分なりに考え、挑戦してきました。みなさんから学ぶことが多く、とても貴重な経験となり、今は感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

苦しかった受験も終わり、四月からはそれぞれの道歩んでいくことになります。この受験という機会を通して自分自身と向き合い、挑戦し成長できたのではないかと思います。私は、この受験には、自分で目標を設定し、自分自身の弱さや不安などと戦い抜くからこそ、結果に関係なく達成感が得られ、自分自身が成長できることに価値があると考えています。そういう意味では、受験を経験したみなさんは見違えるように成長し大人になったと思います。でも、みなさんは何かを達成したわけではありません。また、理想の自分にはほど遠いと思います。だからこそ、ここで成長の歩みを止めるわけにはいかないのです。高校を卒業すると、誰かが挑戦する場を与えてくれるわけではありません。みなさん自身が挑戦する場を作らなければなりません。受験という機会がみなさんを大きく成長させたように、挑戦する場をたくさん乗り越えた人とそれを避けた人とは大きく人生が変わります。もちろん、挑戦には苦勞や困難が伴います。みなさんには、苦勞や困難に立ち向かうことを、挑戦することを楽しめる人になって欲しいと思っています。これからも、挑戦し続けてください。

今という一瞬を、精一杯楽しもう。

# 保護者からの言葉

三年間を振り返って、  
すべての出会いに感謝!!

31 R 保護者 安 達 たえ子

20世紀と21世紀をまたぐミレニアムイヤー(二〇〇〇年と二〇〇一年)に誕生した皆さんが、平成最後の年に卒業を迎え、新たな元号が始まる年に新たなスタートを切る!時代を越えて活躍される予感がしてワクワクします。

娘がまだ中学生の頃、黒の上下のスーツをビシッと着こなし、お揃いのクロスタイをつけて演奏をする吹奏楽部の先輩方に憧れ、「東高で吹奏楽がやりたい!」「東高に入りたい!」と自ら目標を決めて受験勉強に挑みました。

無事に合格することができ、合格発表の日に流したうれし涙は今でもはつきりと覚えています。あれからあつという間には流れましたが、目標どおり吹奏楽を続けながら、コツコツと努力をした三年間でした。

部活のお手伝いや、PTA行事・面談などで東高にお邪魔すると、すれ違う先生方や生徒さん達はいいつも気持ちの良い挨拶と笑顔で迎えて下さり、穏やかな雰囲気のある校舎には東高独特のやわらかい空気が流れていて、この高校で三年間を過ごせる娘は幸せだなあといつも感じました。卒業を迎え、三年間を共に過ごした友達・支えて下さった先生方、出会う事ができた後輩・先輩、すべての皆さんへのたくさんの感謝の気持ちとさみしい気持ちが入り交じっています。可能性を秘めた皆さんの人生はまだこれから:色々な悩みや迷い、一つ一つ解決しながら自分らしく一歩一歩歩まれ、さらに大きく成長される事を願っています。三年間お世話になりました。本当にありがとうございます。

## 出会いは宝物

32 R 保護者 福 間 京

「東高に行つてバスケットがしたい」中学三年生の秋に息子が言った。東高バスケット部は県の強化校で有望な選手ばかりが集まる学校である。中学からバスケットを始めた息子が行けるようなところではないかと思つた。ましてや校区外受験の狭き門へのチャレンジは無謀に思えた。息子の決心は固く、驚異的な頑張りで東高に合格。最初の試練は一年生の夏におとずれた。自信を喪失した息子は食べられなくなり、動けなくなり、嘔吐しなくなった。私は焦つた。何を聞いても無言で涙を流すだけの息子。夏の暑さと心がえぐられるような苦しさとで、どうにかなりそうだった。このままでは、部活どころか学校も続けられなくなるかもしれない。私は待つことしかできなかった。

ある日突然「俺、部活に行くわ」と、以前と変わらぬ様子で家を出た息子の後を、私は心配で車でこつこつついていった。城北通りのキツイ坂、島根大学前の狭い歩道。息子は力強くペダルを漕ぎ、東高へ向かっていた。涙が止まらなかつた。「がんばれ、がんばれ」心の中で応援するしかなかつた。息子が東高に到着したのを見届け、駐車場で行んでいる私に、通りかかった息子のチームメイトが声をかけてくれた。「僕たちが支えますから」笑顔で言ってくれた。息子には仲間がいる。胸が熱くなった。

結局、息子は二年生の夏にバスケット部を辞めた。私の気持ちはさておいて、息子は納得して決断したので、一年前の憔悴しきつた姿はなかつた。東雲祭、研修旅行も楽しんだ。バンドも始め、バスケット部の仲間とも変わらず仲良くしていた。進路も決め、それに向かつて勉強も頑張つた。振り返ると、その全てに、先生方ははじめ、仲間、保護者、地域の方々が支えて下さつた。そのおかげで息子は今ここにいます。出会えた全ての人に感謝したい。そして、これからの人生、周りの

への感謝の気持ちを忘れず、前を向いて、一歩一歩自分の足で歩いていってほしい。卒業生の皆さん、あなたにも支えてくれる人がいます。どんな時も一人じゃない。今までも、これからも。卒業おめでとう。

## 新しい旅立ち

33 R 保護者 伊 藤 祐 子

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。振り返ると三年間はあつという間で、入学したのがつい最近の事のように思われます。この三年間に、勉強や部活と充実した日々を送られ、精神的・肉体的に大きくなられたことと思います。これから先、それぞれ目標に向かつて、それぞれの道を歩き始めることになりませんが、人生はいつも順風満帆とは限りません。そんな時こそ、皆さんには東高で培った「忍耐力・精神力」を糧に、自分に妥協することなく目標に向かつて突き進んでほしいと思います。いちばん好きだと思えるものがあるという事はステキな事です。自分で進んだ道に自信を持って進んでいってください。しかし、先で壁にぶち当たったり、努力にふさわしい結果がでない時にも、しっかりと目を開いて再び歩き出してください。きっと喜びは自分一人のものではなく、友人や家族と分かち合えるものになるでしょう。

最後になりましたが、高校を無事に卒業していただくのが親としての一つの責任を果たしたと、心から安堵感と、親元から巣立つていく寂しさを胸がいつぱい溢れます。心の育つ仕上げの時期を大切に寄り添ってくださった先生方に、心から感謝申し上げます。





## 時代の波に乗って。

34 R 保護者 永海 恭子

ご卒業おめでとうございます  
保護者として三年間を振り返ってみますと、三年近く前の入学式がこの間のことのように感じます。月日が経つのは本当に早いです。この春卒業の皆さんは、どんな高校生活を過ごされたか？案外長かった、という人もいるでしょうか？昨年の三月、PTA進路指導委員会主催の進路講演会に出かけました。その中で、卒業生による「受験体験談」を聞かせていただきました。一、二年生の頃は部活動に一生懸命だったこと、学習との両立や進路決定に悩んだこと、浪人を決めたこと。そして、ご家族の支えがあつて合格の日を迎えられたこと等、受験までの自分を振り返りながら、一つ一つ、丁寧に、飾ることなく話していた姿を思い出します。後半は、気持ちがいつぱいになつてか、涙声になつていたのが印象的でした。頑張つてきてよかった気持ちも、つらかった気持ちも伝わってきました。その日の講演会に出かけよかつたな、と思つたことを今でも覚えています。

## それぞれの道にむかつて

35 R 保護者 金山 奈美子

34期卒業生の諸君！  
ご卒業おめでとうございます。  
三年前の入学式たくさんの不安や、たくさんの夢を抱いてこの東高へ入学した事、数少ない友人と校門で列をなして写真を写していたことをよく覚えています。あれから三年。  
皆さんにとつてこの三年間長かったですか？短かったですか？辛かったですか？楽しかったですか？  
高校生活を終わろうとしている今、いろいろなことが頭をよぎりそれぞれの思い出となっていることでしょうか。  
私にとつて高校生の保護者と言うのは初めての経験でした。三姉妹の長女。大好きな部活動と、嫌いやない勉強を両立し、この高校生活目標持つて楽しむと自分で決めた東高。  
中学校の同級生は一人もない中、彼女は飛び込んできました。幸い、友達にも恵まれ順風満帆な一年生。部活動では思うようにできず、ずいぶんと思ひ悩んだ二年生。一緒に涙を流した日もありましたが、それも今となつては一つの思い出です。三年生になり、部活も悔いを残すことなく最後までやりとげ、残すは受験だけとなりました。親は子を、子は親を成長させてくれた三年間です。  
そしてこの春、我が子も含め皆さんはそれぞれの道を歩み始めます。就職であったり、進学であったり、また、一人暮らしで親元を離れる子も居ると思います。  
ここからは挑戦です。決して平坦な道ばかりではありません。登り坂もあれば下り坂もあるでしょう。迷つたり、壁にぶつかったり、笑つて、泣いて、それでも人生は一度きり。失敗を恐れず、夢に向かい、実現すればまたその先の夢に向かい、そして「桜梅桃李」、皆さんがこの先それぞれ素敵な花を咲かせられますように。  
心より祈っています。

## 卒業生の皆さまへ

36 R 保護者 石川 達也

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。  
この三年間、いや今までの十八年の人生で、楽しいこともつらいこともたくさんあつたかと思ひます。勉強や部活で精一杯努力した結果が出て喜んだり、その逆で落ち込んだり、親友ができたり、人間関係に悩んだり。たくさんの事を経験しながら皆さんは人として大きく成長し、今、人生の大きな転機を迎えました。  
新しい環境に踏み出すことや親元を離れて生活することにワクワク感でいっぱいの人、不安が大きい人、いろいろだと思ひますが一つだけ皆さんに忘れないでほしいことがあります。それは「感謝のこころ」です。  
今まで生きてきた中でお世話になつたご両親、先生方、友達、その他全ての方への感謝の気持ちを忘れないでください。そしてこれからお世話になる全ての方への感謝のこころを常に持ち続けてください。できれば言葉や言動で、照れくさければ口に出さずとも心の中で感謝の気持ちを伝え続けてください。誰も一人では生きていきませんが必ずたくさんの人に助けられ、支えられながら生活しています。それは決して当たり前前のことではありません。  
常に何に対しても「ありがとう」の気持ちを持ち続けることで、ポジティブな思考や幸せ感を育むことにつながります。そして他人にもより親切に接することができ、まわりの人を幸せな気分にする事ができます。そうすれば時に挫折や困難な状況を迎えたとしても必ずまわりの人が助けられます。昨年スーパードラマで話題となつた尾畠春夫さんが大切にしている言葉に「かけた情は水に流せ。受けた恩は石に刻め」というのがあるそうです。まさにその通りだと思ひます。卒業生の皆さん、これから長い人生、感謝の気持ち忘れずに幸せな日々を過ごしてください。そしてまわりの人も幸せにしてください。皆さんの輝かしい未来をみんな応援しています。

# 卒業生からの言葉

## 東高で過ごした時間

31 R 塩田雄一

東高で過ごした時間はあつという間で、つい最近入学式があつたように感じます。気がつけば、部活動を引退し、いつの間にか卒業式まであと少しになつてしまいました。この東高で過ごした時間は、自分にとつてとても多くの新しい経験を、多くの楽しい思い出ができた三年間でした。

一年生、高校の授業についていけるのか、初めて会う人達とうまくやっていけるのか、色々な不安を持ったまま入学しました。しかし時間が経つにつれ、学校にも慣れて、新しい友達もできました。そして部活動も本格的にスタートし、初めての定期テストもあり、毎日が充実していました。二年生、初めてのクラス替えがあり、ここでも新しい友達ができました。さらに東京研修では、右も左も分からない所を、自分たちの力だけでまわることができました。たくさん調べて計画した分、無事に帰ってくることができた時の達成感はとても大きかったです。

三年生、ついに東高の最高学年になりました。部活動では最後の県総体、学校生活では最後の東雲祭など、一つ一つの行事に「最後」という言葉がつくようになりました。チームメイトと戦った県総体、クラス一丸となつて成功させた東雲祭など、自分にとつて最高の思い出になりました。僕は、三年間東高で楽しく生活することができました。しかしそれはたくさん支えがあつたからです。最後まで進路をサポートしてくれた先生方、一緒に学校生活を送った友達、そして毎日お弁当を作ってくれたり、送迎をしてくれたりした家族の皆さんに感謝してもこの東高で過ごした時間とたくさんの人への感謝を胸に働きたいです。

数ある高校から東高を選んで本当によかったです。三年間、本当にありがとうございました。

## 思い出

32 R 長谷健

桜の蕾が花へと移り変わり、春の訪れを感じる三月二日、私たち34期生はこの学び舎を卒業します。改めて高校生活を振り返ると、とても長いようであつたという間の三年間で毎日が驚きの連続の日々でした。思い出の中には嬉しいもの、時には辛いもの、苦しいもの、様々な経験が頭の中で走馬燈のようにかけめぐっています。

仲間と切磋琢磨し、喜びや苦しみを分かち合った部活動。遅くまで学校に残り三送会の準備をした生徒会。クラスの皆と一緒に作り上げた最高の東雲祭。放課後も遅くまで残って勉強した日々。寄り道をして家に帰ったこと。当時は当たり前だと思つていた日々は今というこの瞬間では二度と味わうことのできないかけがえのない時間でした。そんな充実した日々が送れたのも、多くの人の支えがあつてこそだと思つて感謝の念に堪えませんでした。本当にありがたうございます。

いよいよ私たち34期生は平成最後の卒業式を迎え、新しい年号とともに新たな生活をスタートさせます。大きな希望と小さな不安を胸に秘め、新しい世界へと一歩を踏み出します。様々な困難に直面すると思いますが、東高で学んだことを活かし、夢を実現させるために頑張っていきたいと思います。最後になりますが、在校生の皆さんは日々の生活をどのように過ごしていますか。日々を疎かにしていませんか。私はテニス部に所属し、毎日練習に励んでいました。その日々の積み重ねが受験、日々の生活など他のことに繋がっていたと感じます。当時は点でしか繋がらなかったことが今、後ろを振り返ると点と点が繋がって、一本の線のように見えます。だから一見無関係に見えることでもその点

が繋がっていくと信じて取り組んでみて下さい。遠くから皆さんの活躍を願っています。

## 青春にもらった贈り物 Present

33 R 宮本レオ二

ふと窓を見れば、真っ赤な夕日が私の顔を赤く染め一日の学校生活の終わりを告げる。手帳を開き、一日のマスが少なくなっていくことに寂しさを感じます。

この三年間、私にとつて決して平坦な道のりではありませんでした。学校での学習、進路、部活でたくさん悩み苦しみました。学校で泣きました。苦しいときもありましたが、そんな時に支えてくれたのは、私の周りのすべての人達でした。それは、先生だったり、クラスメイト、友達、部活の方達や両親でした。みなさんのおかげで何度も私は救われました。学校生活はとても楽しく笑わなかつた日は一日もありませんでした。充実した毎日を経験することができました。もし私が、松江東高の生徒ではなかつたら、こんな素敵な思い出はつけれなかつたでしょうし、みなさんに出会つていなかつたら今の私はいないでしょう。「東高」というこの場所でもみなさんに出会い変わっていくことが出来ました。私はこの出会いを偶然ではなく、奇跡だと思つています。

ここからは、まだ青春を楽しんでいる方々や今から自分の夢に向かって頑張る方々に向けて述べます。高校時代は、よく悩みよく苦しむ時間だと思えます。なぜなら、自分が今いるその場所があるあなたの人生のターニングポイントだからです。たくさんの決断があなたにせまってくるでしょう。たたく苦しくなったら泣いても良いと思います。あなたは一人ではありませぬし、あなたのことを助けてくれる人は必ずいます。だからいっぱい泣いて笑つてくたさい(笑)。最後に一つ、私は英語が好きなので言わせてください。「現在」を英語にするのと、「Present」と書きます。毎分毎秒が大切な贈り物です。毎日を当たり前のように過ごさず毎日

をもう二度と来ない日として過ごしてみてもいい。そうすれば大人になった時、今よりもっといい自分になっていると思います。私は輩に出会えて今の好きな自分でいれます。ありがとうございます。

## 全てにありがとう

34 R 吉原里菜

高校生という存在に憧れ、期待を膨らませながら入学したのが、ついでこの間のように感じられず。それほど毎日が楽しく、私にとって密度の濃い良い三年間になりました。

私は兄の影響もあり、すぐにポト部に入部することを決めました。初めて艇を漕いだ時から、一日の楽しみが部活の時間と言えるほどポトの魅力に夢中になりました。練習は毎日ハードだったけど、どんなに辛くても励まし合える仲間がいました。そんな大事な仲間達と同じ目標に向かって日々努力したこと、勝ったときに喜びを共有したこと、苦しいときに支え合ったこと、全国の舞台で戦えたことなど、全てかけがえない思い出です。

そして、自分が一生懸命部活動に取り組めたのは、本当にたくさんの周りの方々に支えられているからであり、それが当たり前ではないということに気づかされました。特に、一番近くで心援し、支えてくれた家族、自分の可能性を引き出し、熱心に指導してくださった先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。また、学習意欲を高め、一つの事に夢中になることの素晴らしさを教えてくれたポト競技に感謝しています。

日々の学校生活や学習面では、部活動の大変さを言い訳にしないと自分で決め、しつかりと取り組むことができました。文武両道は決して容易ではなかったけれど、最後まで諦めない気持ちで鍛えられ、やりきれたことが自信にも繋がりました。長いようで短かった三年間、たくさんの喜びと感動を味わい、周りの人達と協力しながら自分

身大きく成長できたと思います。これからも東高で得た多くの学びや経験を糧に色々なことに挑戦し続けたいです。三年間ありがとうございます。

## つづく

35 R 原瀬竜文

東高での三年間はあつという間で、全部をはっきり覚えてはいたけれど、バスケット部の厳しい環境下で過ごしてきたことを一生忘れることはできないでしょう。

私はバスケット部八人で過ごした時間が一番心に残っています。きついランメニューやトレーニング、練習中に互いに声を出して高め合ったのをよく覚えています。学校生活でもよく話し、特に移動のバスや遠征や部室ではいつも楽しく、最高でした。一緒にいる時間が長いぶん、けんかも多くなりました。彼らと共に過ごした普通の日々が、かけがえない足跡だと確信しています。

学校生活では東雲祭が印象深いです。人生初の団長で、リーダー役で大変なんだな、と当たり前のことを思いました。その際には、多くの先生に相談のこともありました。とても助かりました。人生最後の体育祭を最高の形で終えられて、本当に自分は周りの人に恵まれていたのだな、と痛感しました。

東高に来て、様々な経験ができたのは、両親のおかげだと思っています。引退するまでは朝早くに弁当を作ってもらい、電車で寝過ごしてしまったりときには迎えに来てもらったり、部活でもサポートしてもらったり、これ以上は泣いてしまうので書きませんが、感謝してもきれえません。また大学生活があるの、将来少しずつこの恩を返させて下さい。

気付けばもうすぐ卒業。友達との別れを意識するせいか、最近、帰り道は遠回りしたくなります。好きだったこの場所を出て、新しい世界へ行くのは寂しいですが、それは34期生のみならず同じだと思えるので、東高で得たことを糧に夢に向かってがんばります。

三年間お世話になりました。

## 三年間ありがとう

36 R 森脇智子

校内に鳴り響くチャイムの音が、私たちの高校生活に終わりを告げたようです。いつもなにげなく聞いていたこの音も、今ではどこか寂しく、なつかしいものを感じられます。

高校生活、本当に楽しかった！私の三年間は鮮やかに彩られています。この東高で素敵な仲間と出会い、日々すごしてきた時間は、私にとつてかけがえのない宝物です。時には辛く悲しいこともありましたが、どんな時も仲間の笑顔が私に力をくれました。たわいもない話で笑いあったり、喜びを分かちあつたりと、多くの笑顔に囲まれ、私は幸せだったなと思います。三年間はあつという間にすぎたように思いますが、充実した日々を送ることができ本当によかったです。

私は三年間、吹奏楽部に所属していました。最初は何もできなかった私ですが、部の一員として仲間と共に演奏できた時は、何にも変えられないほど嬉しかったことを覚えています。この部活動を通して、音楽のすばらしさ、つくりあげる楽しさはもちろん、勇気をもって何事にも挑戦すること、責任感をもって行動することの大切さを改めて学びました。また、仲間と共にいくつもの壁を乗り越えてきたことは今後の自分に大きな自信を与えてくれると思います。そして、この部活に入り、様々な事を経験し、学べたことを光栄に思います。

今こうして振り返ってみると、当たり前に過ごしてきた毎日、すごくありがたかったのだなと感じます。この場所での出会ったこと、共に勉強、部活動に励んだこと、沢山笑いあったこと、どれも大切な思い出です。そして大好きな仲間とここまでこられたことを誇りに思います。私を応援し、支えてくださったすべての方々へ感謝します。三年間、ほんとにありがとうございます。これまでの経験、努力がいつか実を結ぶと信じ、未来へ進んでいきたいと思えます。

# 平成30年度後期部活動成績

## 女子バレーボール部

◆中国大会島根県予選(予選リーグ)				
男子	1 1	2 1	2 1	2 1
女子	2 1	2 0	2 0	2 0
準決勝	1	1	1	1
決勝	2	0	0	2
結果	松江商業	出雲商業	松江南業	松江南業

## ◆県選権

2 1 2 1 1 1 2 1

## バスケットボール部

◆県選権大会 島根県予選				
男子	1 1	2 1	2 1	2 1
女子	2 1	2 0	2 0	2 0
準決勝	1	1	1	1
決勝	2	0	0	2
結果	松江商業	出雲商業	松江工業	松江工業

## ◆中国選手権大会(岡山市)

男子	1 1	2 1	2 1	2 1
女子	2 1	2 0	2 0	2 0
準決勝	1	1	1	1
決勝	2	0	0	2
結果	松江商業	出雲商業	松江工業	松江工業

## ◆中国大会県予選

男子	1 1	2 1	2 1	2 1
女子	2 1	2 0	2 0	2 0
準決勝	1	1	1	1
決勝	2	0	0	2
結果	松江商業	出雲商業	松江工業	松江工業

## ◆県選権

男子	1 1	2 1	2 1	2 1
女子	2 1	2 0	2 0	2 0
準決勝	1	1	1	1
決勝	2	0	0	2
結果	松江商業	出雲商業	松江工業	松江工業

## ◆県選権大会

男子	2 1	2 1	2 1	2 1
女子	2 1	2 0	2 0	2 0
準決勝	1	1	1	1
決勝	2	0	0	2
結果	松江工業	松江工業	松江工業	松江工業

男子	2 1	2 1	2 1	2 1
女子	2 1	2 0	2 0	2 0
準決勝	1	1	1	1
決勝	2	0	0	2
結果	松江商業	出雲商業	松江工業	松江工業

## ◆中国大会県予選

男子	1 1	2 1	2 1	2 1
女子	2 1	2 0	2 0	2 0
準決勝	1	1	1	1
決勝	2	0	0	2
結果	松江商業	出雲商業	松江工業	松江工業

## ◆中国高等

男子	1 1	2 1	2 1	2 1
女子	2 1	2 0	2 0	2 0
準決勝	1	1	1	1
決勝	2	0	0	2
結果	松江商業	出雲商業	松江工業	松江工業

## 卓球部

男子	1 1	2 1	2 1	2 1
女子	2 1	2 0	2 0	2 0
準決勝	1	1	1	1
決勝	2	0	0	2
結果	松江商業	出雲商業	松江工業	松江工業

## ◆中国大会

男子	1 1	2 1	2 1	2 1
女子	2 1	2 0	2 0	2 0
準決勝	1	1	1	1
決勝	2	0	0	2
結果	松江商業	出雲商業	松江工業	松江工業

## ◆県選権

男子	1 1	2 1	2 1	2 1
女子	2 1	2 0	2 0	2 0
準決勝	1	1	1	1
決勝	2	0	0	2
結果	松江商業	出雲商業	松江工業	松江工業

## ◆中国大会

男子	1 1	2 1	2 1	2 1
女子	2 1	2 0	2 0	2 0
準決勝	1	1	1	1
決勝	2	0	0	2
結果	松江商業	出雲商業	松江工業	松江工業

男子	1 1	2 1	2 1	2 1
女子	2 1	2 0	2 0	2 0
準決勝	1	1	1	1
決勝	2	0	0	2
結果	松江商業	出雲商業	松江工業	松江工業

## ◆国体予選

男子	1 1	2 1	2 1	2 1
女子	2 1	2 0	2 0	2 0
準決勝	1	1	1	1
決勝	2	0	0	2
結果	松江商業	出雲商業	松江工業	松江工業

## ◆1年生大会

男子	1 1	2 1	2 1	2 1
女子	2 1	2 0	2 0	2 0
準決勝	1	1	1	1
決勝	2	0	0	2
結果	松江商業	出雲商業	松江工業	松江工業

## ◆県選権

男子	1 1	2 1	2 1	2 1
女子	2 1	2 0	2 0	2 0
準決勝	1	1	1	1
決勝	2	0	0	2
結果	松江商業	出雲商業	松江工業	松江工業

## ◆中国大会

男子	1 1	2 1	2 1	2 1
女子	2 1	2 0	2 0	2 0
準決勝	1	1	1	1
決勝	2	0	0	2
結果	松江商業	出雲商業	松江工業	松江工業

## ◆中国大会

男子	1 1	2 1	2 1	2 1
女子	2 1	2 0	2 0	2 0
準決勝	1	1	1	1
決勝	2	0	0	2
結果	松江商業	出雲商業	松江工業	松江工業

## ソフトテニス部

男子	0 1	2 1	2 1	2 1
女子	2 1	2 0	2 0	2 0
準決勝	1	1	1	1
決勝	2	0	0	2
結果	松江商業	出雲商業	松江工業	松江工業

◆県総体  
男子個人

団体戦(長谷、作野、北野、中井、田中良)

テニス部

女子個人  
1回戦 1-2 松江西  
柳谷・直井 2回戦 敗退  
小川・上田 1回戦 敗退  
石橋・川上 1回戦 敗退

◆県新人戦  
男子個人

金崎・古川 0-3 松江高専  
福田・濱上 2回戦 敗退  
高木・曾我 2回戦 敗退  
景山・平江 1回戦 敗退

◆中国選手権  
女子個人

小川・直井 1回戦 敗退  
高木・曾我 1回戦 敗退  
福田・濱上 1回戦 敗退  
金崎・古川 1回戦 敗退

◆県選手権  
男子個人

岩本 理沙・畑 美咲 1回戦 敗退  
高木・曾我 1回戦 敗退  
福田・濱上 1回戦 敗退  
金崎・古川 1回戦 敗退

◆中国選手権  
女子個人

石見智翠館 3回戦 敗退  
石見智翠館 2回戦 敗退  
石見智翠館 1回戦 敗退

◆県新人戦  
男子個人

塩田・林 1回戦 敗退  
塩田・林 2回戦 敗退  
塩田・林 3回戦 敗退

◆県新人戦  
女子個人

塩田・林 1回戦 敗退  
塩田・林 2回戦 敗退  
塩田・林 3回戦 敗退

◆中国新人大会  
男子個人

松江東 2回戦 敗退  
松江東 1回戦 敗退

◆中国新人大会  
女子個人

松江東 2回戦 敗退  
松江東 1回戦 敗退

◆県新人戦  
男子個人

松江東 2回戦 敗退  
松江東 1回戦 敗退

◆県新人戦  
女子個人

松江東 2回戦 敗退  
松江東 1回戦 敗退

◆県新人戦  
男子個人

松江東 2回戦 敗退  
松江東 1回戦 敗退

◆県新人戦  
女子個人

松江東 2回戦 敗退  
松江東 1回戦 敗退

◆県新人戦  
男子個人

松江東 2回戦 敗退  
松江東 1回戦 敗退

◆県新人戦  
女子個人

松江東 2回戦 敗退  
松江東 1回戦 敗退

◆県新人戦  
男子個人

松江東 2回戦 敗退  
松江東 1回戦 敗退

◆県新人戦  
女子個人

松江東 2回戦 敗退  
松江東 1回戦 敗退

◆県新人戦  
男子個人

松江東 2回戦 敗退  
松江東 1回戦 敗退

◆県新人戦  
女子個人

松江東 2回戦 敗退  
松江東 1回戦 敗退

◆中国大会  
男子個人

5位 決定戦 2-3 3-0 出雲農林高校

◆中国大会  
女子個人

2回戦 3-0 松江北高校

◆中国大会  
男子個人

1回戦 2-1 松江北高校

◆中国大会  
女子個人

1回戦 0-1 松江北高校

◆中国大会  
男子個人

1回戦 0-1 松江北高校

◆中国大会  
女子個人

1回戦 0-1 松江北高校

◆中国大会  
男子個人

1回戦 0-1 松江北高校

◆中国大会  
女子個人

1回戦 0-1 松江北高校

◆中国大会  
男子個人

1回戦 0-1 松江北高校

◆中国大会  
女子個人

1回戦 0-1 松江北高校

◆中国大会  
男子個人

1回戦 0-1 松江北高校

◆中国大会  
女子個人

1回戦 0-1 松江北高校

◆中国大会  
男子個人

1回戦 0-1 松江北高校

◆中国大会  
女子個人

1回戦 0-1 松江北高校

◆中国大会  
男子個人

1回戦 0-1 松江北高校

◆中国大会  
女子個人

1回戦 0-1 松江北高校

◆中国大会  
男子個人

1回戦 0-1 松江北高校

◆中国大会  
女子個人

1回戦 0-1 松江北高校

◆中国大会  
男子個人

1回戦 0-1 松江北高校

◆中国大会  
女子個人

1回戦 0-1 松江北高校

◆中国大会  
男子個人

1回戦 0-1 松江北高校

◆中国大会  
女子個人

1回戦 0-1 松江北高校

◆中国大会  
男子個人

1回戦 0-1 松江北高校

◆中国大会  
女子個人

1回戦 0-1 松江北高校

◆中国大会  
男子個人

2回戦 3-0 松江北高校

◆中国大会  
女子個人

2回戦 3-0 松江北高校

◆中国大会  
男子個人

2回戦 3-0 松江北高校

◆中国大会  
女子個人

2回戦 3-0 松江北高校

◆中国大会  
男子個人

2回戦 3-0 松江北高校

◆中国大会  
女子個人

2回戦 3-0 松江北高校

◆中国大会  
男子個人

2回戦 3-0 松江北高校

◆中国大会  
女子個人

2回戦 3-0 松江北高校

◆中国大会  
男子個人

2回戦 3-0 松江北高校

◆中国大会  
女子個人

2回戦 3-0 松江北高校

◆中国大会  
男子個人

2回戦 3-0 松江北高校

◆中国大会  
女子個人

2回戦 3-0 松江北高校

◆中国大会  
男子個人

2回戦 3-0 松江北高校

◆中国大会  
女子個人

2回戦 3-0 松江北高校

◆中国大会  
男子個人

2回戦 3-0 松江北高校

◆中国大会  
女子個人

2回戦 3-0 松江北高校

◆中国大会  
男子個人

2回戦 3-0 松江北高校

◆中国大会  
女子個人

2回戦 3-0 松江北高校

◆中国大会  
男子個人

2回戦 3-0 松江北高校

◆中国大会  
女子個人

2回戦 3-0 松江北高校

◆中国大会  
男子個人

2回戦 3-0 松江北高校

◆中国大会  
女子個人

2回戦 3-0 松江北高校

◆中国大会  
男子個人

2回戦 3-0 松江北高校

◆中国大会  
女子個人

2回戦 3-0 松江北高校



# ハンドボール部

<b>◆中国選手権島根県予選</b>	<b>◆中国選手権大会島根県予選</b>	<b>◆中国選手権大会島根県予選</b>	<b>◆中国選手権大会島根県予選</b>	<b>◆中国選手権大会島根県予選</b>	<b>◆中国選手権大会島根県予選</b>	<b>◆中国選手権大会島根県予選</b>	<b>◆中国選手権大会島根県予選</b>
男子 1回戦 準決勝 3位決定戦 結果 25   19 27   10 松江南高校 3位(中国大会進出)	女子 1回戦 準決勝 3位決定戦 結果 5   9 11   21 19   22 松江南高校 松江南高校 江江市立女子高校 結果 4位	<b>◆中国選手権</b> 男子 1回戦 準決勝 3位決定戦 結果 15   25 徳山商工 1回戦敗退	<b>◆中国選手権</b> 女子 1回戦 準決勝 3位決定戦 結果 15   13 18   20 20   20 松江工業 松江高専 結果 4位	<b>◆中国選手権</b> 男子 1回戦 準決勝 3位決定戦 結果 15   15 41   25 28   5 浜田水産 松江南女 結果 4位	<b>◆中国選手権</b> 女子 1回戦 準決勝 3位決定戦 結果 16   20 20   13 12   13 松江南 結果 優勝 4位	<b>◆中国選手権</b> 男子 1回戦 準決勝 3位決定戦 結果 12   22 22   17 52   17 境(鳥取1位) 結果 2位	<b>◆中国選手権</b> 女子 1回戦 準決勝 3位決定戦 結果 15   23 12   22 飯南 松江南 結果 優勝(中国選抜選手権大会に進出) 3位
<b>◆中国選手権大会島根県予選</b> 1位 100点(中国大会出場)	<b>◆中国選手権大会島根県予選</b> 1位 100点(中国大会出場)	<b>◆中国選手権大会島根県予選</b> 1位 100点(中国大会出場)	<b>◆中国選手権大会島根県予選</b> 1位 100点(中国大会出場)	<b>◆中国選手権大会島根県予選</b> 1位 100点(中国大会出場)	<b>◆中国選手権大会島根県予選</b> 1位 100点(中国大会出場)	<b>◆中国選手権大会島根県予選</b> 1位 100点(中国大会出場)	<b>◆中国選手権大会島根県予選</b> 1位 100点(中国大会出場)

# アーチェリー部

男子個人 1位 内田明 2位 三好真令 3位 内田明 真令(中国大会出場) 日華(中国大会出場)	女子個人 1位 斐芽 2位 真令 3位 内田明 日華(中国大会出場)	男子団体 1位 内田明 2位 三好真令 3位 内田明 真令(中国大会出場) 日華(中国大会出場)	女子団体 1位 斐芽 2位 真令 3位 内田明 日華(中国大会出場)
---	--	---	--

# 弓道部

<b>◆中国選手権大会島根県予選</b> 男子団体(山根・越峠・中川・岩田・岩本・福田) 60射15中 予選敗退 女子団体(長谷川・大曲・田部・横山・田中・弓場) 60射21中 予選敗退	<b>◆中国選手権大会島根県予選</b> 男子個人 予選敗退 女子個人 予選敗退	<b>◆中国選手権大会島根県予選</b> 男子個人 予選敗退 女子個人 予選敗退	<b>◆中国選手権大会島根県予選</b> 男子個人 予選敗退 女子個人 予選敗退	<b>◆中国選手権大会島根県予選</b> 男子個人 予選敗退 女子個人 予選敗退	<b>◆中国選手権大会島根県予選</b> 男子個人 予選敗退 女子個人 予選敗退	<b>◆中国選手権大会島根県予選</b> 男子個人 予選敗退 女子個人 予選敗退	<b>◆中国選手権大会島根県予選</b> 男子個人 予選敗退 女子個人 予選敗退
---	--	--	--	--	--	--	--

# 水泳部

<b>◆中国選手権大会島根県予選</b> 男子個人 予選敗退 女子個人 予選敗退	<b>◆中国選手権大会島根県予選</b> 男子個人 予選敗退 女子個人 予選敗退	<b>◆中国選手権大会島根県予選</b> 男子個人 予選敗退 女子個人 予選敗退	<b>◆中国選手権大会島根県予選</b> 男子個人 予選敗退 女子個人 予選敗退	<b>◆中国選手権大会島根県予選</b> 男子個人 予選敗退 女子個人 予選敗退	<b>◆中国選手権大会島根県予選</b> 男子個人 予選敗退 女子個人 予選敗退	<b>◆中国選手権大会島根県予選</b> 男子個人 予選敗退 女子個人 予選敗退	<b>◆中国選手権大会島根県予選</b> 男子個人 予選敗退 女子個人 予選敗退
--	--	--	--	--	--	--	--

# 野球部

<b>◆中国選手権大会島根県予選</b> 男子個人 予選敗退 女子個人 予選敗退	<b>◆中国選手権大会島根県予選</b> 男子個人 予選敗退 女子個人 予選敗退	<b>◆中国選手権大会島根県予選</b> 男子個人 予選敗退 女子個人 予選敗退	<b>◆中国選手権大会島根県予選</b> 男子個人 予選敗退 女子個人 予選敗退	<b>◆中国選手権大会島根県予選</b> 男子個人 予選敗退 女子個人 予選敗退	<b>◆中国選手権大会島根県予選</b> 男子個人 予選敗退 女子個人 予選敗退	<b>◆中国選手権大会島根県予選</b> 男子個人 予選敗退 女子個人 予選敗退	<b>◆中国選手権大会島根県予選</b> 男子個人 予選敗退 女子個人 予選敗退
--	--	--	--	--	--	--	--

◆新人戦(新人水泳大会兼中国大会島根県予選会)  
 1000m自由形 1位 松本 啓太  
 500m自由形 3位 松本 啓太  
 2000mバタフライ 4位 小川 陸輝  
 2000m個人メドレー 4位 小川 陸輝  
 2000m平泳ぎ 2位 佐貫 歩香  
 1000m平泳ぎ 4位 佐貫 歩香  
 以上、4名とも上記種目で中国新人戦への出場権獲得

## 体 操

◆県総体 個人  
 総合第7位 勝平 美優  
 中国大会 出場 勝平 美優

## 新 体 操

◆県総体  
 総合第4位 石川 遥陽  
 個人  
 第1位 石川 遥陽  
 個人(クラブ)

## 吹 奏 楽 部

◆第59回全日本吹奏楽コンクール島根県大会  
 高等学校Aの部 銀賞  
 ◆第42回全日本アンサンブルコンテスト島根県大会  
 高等学校の部  
 金賞 木管四重奏 鈴木 瑠樹、三ヶ尻晴香、後藤 咲希、林 海羽、小川可那子、梶島 未咲、川瀬 綾乃、田中 友萌、金賞 金管五重奏 田村 佳音  
 (51チーム中金賞は20チーム)

## 高 文 連 音 楽 部 門

◆第57回島根県高等学校音楽コンクール  
 金賞 声楽 吉野 萌々

## 美 術 部

◆第56回島根県高等学校総合体育大会ポスター原画  
 佳作 坪倉 有希 美術講習会・コンクール  
 ◆平成30年度高文連松江地区美術講習会・コンクール  
 優秀賞 高木 菜緒  
 佳作 小藤 育子  
 入選 川上 早希 石原 里菜  
 川本 瑞稀 岡本 瑠夏  
 ◆平成30年度島根県図書カード図案  
 川本 瑞稀  
 ◆平成30年度島根県緑化ポスターコンクール  
 優秀賞 林 琴美  
 ◆平成30年度第51回島根県高校美術展  
 全国大会出品(上位7作品) 岡本 偉路里 林 琴美

## 文 化 創 造 部

◆第30回読書感想画コンクール  
 入選 後藤 育子の 坪倉 有希  
 松田 菜緒  
 高木 瑞稀  
 小野 璃月  
 小村 卓月  
 岡本 偉路里  
 優良賞 岡本 偉路里 林 琴美

◆放送部門  
 ◆第54回島根県高等学校放送コンテスト松江地区大会  
 アナウンス部門 川上 美瑠  
 県大会進出  
 朗読部門 梅山 紗弥加 山口 研太郎  
 県大会進出 高橋 希実 吉野 萌々

◆第54回島根県高等学校放送コンテスト島根県大会  
 アナウンス部門 川上 美瑠  
 全国大会進出  
 朗読部門 梅山 紗弥加 高橋 希実  
 全国大会進出

◆第22回NHK全国高等学校放送コンテスト  
 放送部門 島根県大会  
 中国大会進出 梅山 紗弥加 高橋 希実  
 中国大会進出 吉野 萌々

◆第65回NHK全国高等学校放送コンテスト  
 創作テレビドラマ部門 梅山 紗弥加 高橋 希実  
 ラジオドラマ部門 第4位(全国大会進出)  
 第22回NHK全国高等学校放送コンテスト 出場

◆第22回NHK全国高等学校放送コンテスト  
 朗読部門  
 中国大会進出 梅山 紗弥加 高橋 希実  
 中国大会進出 吉野 萌々

◆平成30年度島根県高等学校松江地区演劇発表会  
 「演劇部門」  
 優良賞

◆島根県高文連文芸専門部文芸コンクール  
 「文芸部門」  
 短歌の部 優良 大谷 未帆  
 佳作 栗原 へりんだ  
 佳作 若槻 未帆  
 俳句の部 優良 大谷 未帆  
 佳作 若槻 未帆  
 小説の部 優良 大谷 未帆  
 佳作 若槻 未帆

◆第11回書道パフォーマンス甲子園中国ブロック大会  
 第2位  
 帆風成海賞(得点第5位)

◆高校書道展  
 平成31年度全国総文祭推薦作品選出 平江 彩華

◆第11回書道パフォーマンス甲子園本戦  
 特選 内田 志康 三好 亜美  
 松本 安帆 柿永 智哉 山根 愛望

◆島根県高文連書道コンクール  
 特選 内田 志康 三好 亜美  
 松本 安帆 柿永 智哉 山根 愛望

◆第11回書道パフォーマンス甲子園中国ブロック大会  
 第2位  
 帆風成海賞(得点第5位)

◆高校書道展  
 平成31年度全国総文祭推薦作品選出 平江 彩華

## 弦 楽 部

◆しまねシンフォネット高校オーケストラ第19回定期演奏会  
 出演予定(3月プラバホール)

## J R C 部

◆あしなが育英募金活動(参加春)  
 ◆島根県高等学校青少年赤十字メンバー春季協議会  
 参加

◆幼稚園訪問(週二回)  
 ◆日本赤十字社島根支部主催リーダーシップトレーニングセンター参加  
 ◆第42回全国高等学校総合文化祭(信州総文祭) 参加  
 ◆学園祭バザー・かき水販売  
 ◆収益金を年末義援金・その他義援金に寄付  
 ◆島根県高等学校青少年赤十字メンバー秋季協議会  
 参加

◆研究発表  
 最優秀賞受賞  
 (来年度第43回全国高等学校総合文化祭(佐賀総文祭)参加決定)

◆島根県高校生英語セミナーCHESSES  
 参加(大田市)

◆第6回島根県高校生英語大会in福井 島根県予選  
 国高校生英語チーム(立石 真翔、松崎 涼夏、松江東Aチーム) 小出望久斗、相見 空星、山崎 果歩  
 1回戦 対 益田高校B 勝ち  
 2回戦 対 益田高校A 負け  
 3位決定戦 対 益田高校A 負け  
 結果 4位(10チーム中) 3位(6校中)  
 松江東Bチーム(門脇峻之介、森脇 彩華、大島 弘也、中園 一輝)  
 1回戦 対 松江商業高校 勝ち  
 2回戦 対 出雲高校A 負け  
 ベストプレイヤー賞 大島 弘也

## E S S 部

◆松江不昧公二百年祭協賛松江ロータリークラブ主催「高校生茶道交流会」参加  
 ◆島根県主催「結とろうろ(結い茶屋)」参加

## 茶 道 部

◆平成30年度島根県高文連自然科学専門部研究発表会  
 口頭発表の部  
 優良賞「ペットボトルロケットについて」  
 優良賞「水面に球を落下させた時の水の跳ね方について」

## 自 然 科 学 部

◆平成30年度島根県高文連自然科学専門部研究発表会  
 口頭発表の部  
 優良賞「ペットボトルロケットについて」  
 優良賞「水面に球を落下させた時の水の跳ね方について」

## 自 然 科 学 部

◆平成30年度島根県高文連自然科学専門部研究発表会  
 口頭発表の部  
 優良賞「ペットボトルロケットについて」  
 優良賞「水面に球を落下させた時の水の跳ね方について」

## 自 然 科 学 部

◆平成30年度島根県高文連自然科学専門部研究発表会  
 口頭発表の部  
 優良賞「ペットボトルロケットについて」  
 優良賞「水面に球を落下させた時の水の跳ね方について」

## 自 然 科 学 部

◆平成30年度島根県高文連自然科学専門部研究発表会  
 口頭発表の部  
 優良賞「ペットボトルロケットについて」  
 優良賞「水面に球を落下させた時の水の跳ね方について」

## 自 然 科 学 部

◆平成30年度島根県高文連自然科学専門部研究発表会  
 口頭発表の部  
 優良賞「ペットボトルロケットについて」  
 優良賞「水面に球を落下させた時の水の跳ね方について」



# PTA会務報告

平成30年10月1日～  
平成31年3月31日

## 1、PTA講演会

〔11月10日（土）〕

【会場】

松江東高校 視聴覚室

【講演】

講師 小片 悦子（おがっち）氏

演題 「おがっちのHappyになるコミュニケーション術」

【参加人数】

80名

## 2、学年PTA（1、2年生）

〔11月10日（土）〕

○ 1年生

【会場】 視聴覚室

【内容】 コース選択説明会

（参加人数 82人）

○ 2年生

【会場】 学習室A

【内容】 進路に関する説明会（参加人数 54人）

## 3、第2回役員会

〔2月14日（木）〕

【議事】

1、学校近況報告

2、平成30年度会務報告・委員会活動報告

3、平成30年度PTA予算の執行状況報告

4、平成31年度PTA事業予定

（予定）

## 4、進路研修会

〔3月9日（土）〕

【場所】 視聴覚室

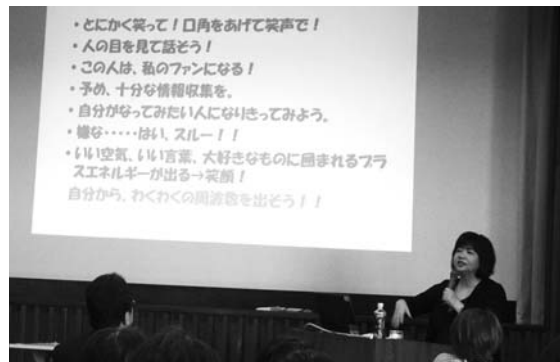
【内容】

① 1、2年生の現状

② 進学マネープラン説明会

奨学金、教育ローン等についての説明

③ 受験生による講演



PTA講演会の様子

# 編集後記

国内外で様々な事象があったこの一年もあっという間に過ぎ、我が子達も未来へ向かって次の一歩を踏み出す時期を迎えています。定石などない各々の道を、迷いながら、あるいは回り道をしながら、時には立ち止まっても、それでも勇気をもって着実にその歩みを進めてもらいたいと願ってやみません。親としても見守り、寄り添い、共に成長していきたいと強く思います。

広報委員 朝倉麻由美

新芽のように希望を持って高校生活への一歩を踏み出した四月からあっという間に一年が経とうとしています。勉強や部活、様々な行事にと毎日忙しく学校生活を送る子ども達の姿を微笑ましく見守っております。東高生として充実した日々を過ごし成長していつてほしいと願いながら親としてもベストサポート出来るように頑張りたいと思います。

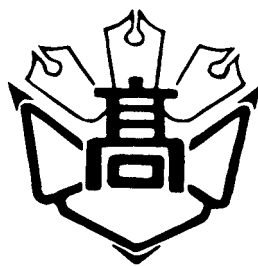
広報委員 木戸 美帆

三年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。この時期は、卒業や入学、就職など人生での大きな節目を、迎えられる方が沢山いらっしゃると思います。新しい環境に不安や戸惑いもあるかもしれませんが、夢に向かって歩んでほしいと思います。また、一、二年生のみなさんは、残りの東高生活を悔いなく過ごし、たくさんのいい思い出を作ってほしいと思います。最後になりましたが、会報の発行にあたり、先生方、ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

広報委員 松原 美和

## 【広報委員】

村 上 光 江	井 上 幸 子
井 上 祐 子	朝 倉 麻 由 美
木 戸 康 雄	松 原 美 和
加 藤 祐 治	



〈題 字〉	〈表紙の 絵〉
36 R	24 R
吾郷	高木
杏	颯